

令和5年度事業報告 総括

近年、少子高齢化、人口減少、価値観の相違、生活様式の多様化などから地域の助け合い、支え合いが希薄になっている中で引きこもりや社会的孤立、生活困窮者、介護者の高齢化が増加し福祉課題の深刻さが増しています。また、甚大な大雨災害があった秋田市災害ボランティアセンターへ職員派遣を行いセンターの運営、被災者のニーズ把握の手伝いをし災害時や感染症の支援対応においても課題が多数あり地域福祉活動の大切さを感じました。

社協会費の減少、共同募金の減少、介護事業の利用者が減少していますが「第4期美郷町地域福祉活動計画」に沿って事業を進めました。様々な課題を総合的に受け止め、地域福祉事業・介護保険事業など他機関多職種と一体となり、必要な活動やサービス提供ができるよう「ネットワーク活動推進事業」「ボランティア活動推進事業」「子育て世代への支援活動」「社会福祉法人地域公益活動推進事業」「介護保険事業・障がい支援事業」等を中心に積極的に事業の推進を図りました。また、災害が発生した場合には被害状況の把握を含め遅延なく事業を展開すると共に、ボランティア活動を行うために必要な情報を速やかに共有・協力体制を整えました。

1. 地域福祉活動計画の推進

情勢の変化に応じて新型コロナウイルス感染症対策を常に見直し、安全を第1とした対応で『みんなで支え合い よろこびあふれ湧くまち』を目指し、3つの基本目標により事業を展開しました。

基本目標1「地域福祉の推進体制づくり」

○ 誰もが安心して生活できる地域共生社会の実現を目指し、民生児童委員や地域住民、関係機関と協力し地域見守りネットワーク活動による一人の不幸も見逃さない運動を推進しました。高齢者世帯等の見守りの強化として「配食サービス事業」の配達時の見守りを中心としたサービスを行い、利用者の声を共有しきめ細かな対応を心がけました。

町内の社会福祉法人連携による新たな支援の在り方を検討、地域における課題について包括的な支援体制の構築に努めました。

取り組み事業：ネットワーク活動推進事業、ふれあい安心電話事業、配食サービス事業
総合相談事業

○ 生活困窮や認知症、障がい、虐待など支援を必要とする方が制度やサービスを知らずに利用できないということがないように、民生児童委員や地域住民、関係機関と協働し支援体制を強化しました。フードドライブを活用した食糧の緊急一時支援の充実を図るため、町内の社会福祉法人施設に常設のフードドライブボックスを設置しました。

取り組み事業：資金貸付事業、日常生活自立支援事業、ネットワーク活動推進事業（緊急一時支援）

基本目標2「安心して生活できる環境づくり」

○ 高齢者・困りごとがある方・病気や障害を持っている方やその介護者等、誰もが住み続ける

ことのできる地域をめざして、福祉サービスの適切な利用ができる体制づくりを進めました。

みさと福祉センターは、災害時には避難場所やボランティアセンターとしての役割を担っていることから、いつでも安全に利用できるように適宜点検を行い設備管理をしました。

介護保険等サービス事業は運営状況が厳しい実情にありますが、介護保険の基本理念である「利用者本位」を実現することが社会福祉協議会としての大切な役割と考え、サービスの提供に努めました。

取り組み事業：在宅介護支援センター（千畑地区）、生活支援コーディネータ事業、ネットワーク活動推進事業（認知症 SOS）、居宅介護支援事業、訪問介護事業、訪問入浴介護事業、障がい者福祉事業、相談支援事業（障がい者、障がい児）、介護用品支給事業、総合相談事業（若者の居場所）、みさと福祉センター管理運営、老人福祉センター雁が音苑事業、移送サービス事業

- 子どもの幸せの実現に向けて、子育てと育児の悩み、子供の貧困、ヤングケアラーなどの対策を支援し次代を担う子供と子育て世代への対応を推進しました。

ボランティア団体居場所づくりサポート「心結び」「ほとり食堂」の活動に協力、他機関との連携調整を図りながら子供や大人が気軽に立ち寄れる地域の居場所づくりを支援しました。

取り組み事業：地域子育て応援事業

- 健康で生きがいをもって暮らせる地域となるように、住民一人ひとりの心身の健康づくりを進めました。

取り組み事業：在宅介護支援センター（千畑地区）、地域住民グループ支援事業、生きがい活動支援通所事業、まめだ屋運営事業、総合相談事業（メンタルヘルス）

- 地域住民が安心して日常生活を継続できるように、町と災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定を締結し災害が発生した場合には被害状況を含めボランティア活動を行うために必要な情報を速やかに共有・協力体制を整えました。

取り組み事業：ボランティアセンター事業、罹災世帯等法外援護事

基本目標3「地域福祉を支えるひとづくり」

- 一人ひとりが地域福祉に関心を持ち活動できるようにわかりやすい情報提供で福祉の啓発に努め、また気軽に意見交換できる場を提供し地域の声を福祉活動に反映しました。

取り組み事業：社会福祉大会、福祉教育活動推進事業、広報活動推進事業、福祉座談会

- 地域全体に主体的な福祉活動が広がるように、地域住民の福祉活動への参加を促進し共に支え合う地域づくりを進めました。

取り組み事業：除排雪活動事業、トータルケア推進事業、ボランティアセンター事業

組織財政基盤の整備

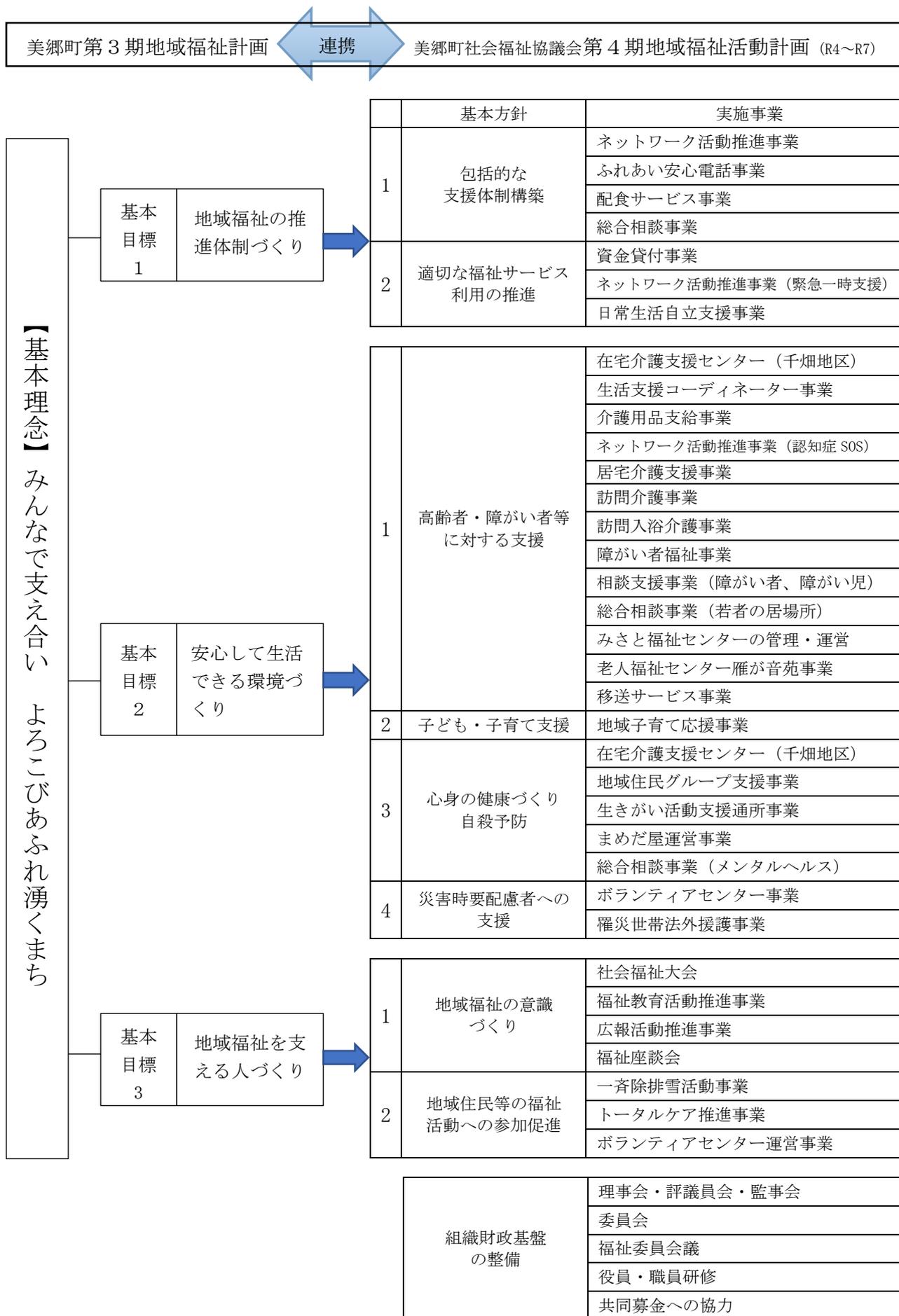
- 地域福祉を推進する中核的な組織として、適正な運営により組織経営の強化を図りました。人材確保困難な現状から効率的な業務体制及び部門間の連携強化をその都度考え、円滑に業

務を遂行しました。

取り組み事業：理事会・評議員会・監事会、委員会、福祉委員会議、役員職員研修、共同募
金会事業への協力

次年度も「第4期地域福祉活動計画」による、基本理念・基本目標に沿い、社会福祉協議会が地域福祉の中核的な担い手としての役割・使命を発揮し『みんなで支え合い よろこびあふれ湧くまち』を目指し住民主体のまちづくりによる地域福祉の推進を積極的に図っていきます。

2. 地域福祉活動計画事業体系図



3. 令和5年度各事業実施状況

◆地域福祉事業

◇ネットワーク活動推進事業

- 要援護者の早期発見から支援につながる“一人の不幸も見逃さない運動”を推進。民生児童委員や分野を超えた関係機関との連携・調整のもとに、高齢者世帯や支援を必要とする世帯に対する地域の見守り活動等のネットワーク（見守りの網の目）により、地域で自立した生活を支援した。
 - ・毎月地区民協定例会にコミュニティソーシャルワーカーが出席、地域課題の把握と要援護者の情報共有を図った。
 - ・警察署と認知症や気になる世帯の情報を共有し、訪問活動を行い世帯の支援見守りの強化を図った。
 - ・生活困窮者自立支援調整会議：毎月1回
- 一人暮らし等要援護者世帯調査：民生児童委員の協力を得ながら、要援護者の実態調査及び生活課題（ニーズ）の把握に努め、要援護者台帳のシステム管理を行った。
 - ・一人暮らし等要援護者世帯調査（4月）
 - ・65歳以上一人暮らし世帯：600世帯
 - ・高齢者夫婦世帯：401世帯
 - ・高齢者夫婦以外の高齢者世帯：76世帯
 - ・単身世帯実態調査（通年）
- 防火点検：南消防分署と協働し、単身老人世帯を対象に防火週間に合わせ点検を実施、火災予防に努め安全な暮らしを支援した。また、緊急情報キットの内容更新の呼びかけを行い、緊急時の対応に備えた。
 - ・実施日：4月7日 訪問世帯数：12世帯
11月8日 訪問世帯数：8世帯
- 緊急一時支援事業：新たに町内施設とフードドライブ活動の体制を整備し困窮者への現物支給や緊急貸付等の支援について、行政等の関係機関とネットワーク支援として取り組んだ。
 - ・フードドライブボックス設置箇所：5ヶ所
 - ・食糧等支給利用者：7件
 - ・フードバンクあきた利用者：0件
 - ・コープフードバンク：0件
- 認知症SOSおたすけネットワーク：認知症になっても安心して生活ができるよう関係機関との連携によるセーフティネットワークの体制を継続した。
 - ・事前登録者：5人
 - ・協力企業団体：96件
 - ・捜索発信なし（テスト送信を1回実施）

◇一斉除雪活動事業

○単身老人等を対象に地域の町民、企業、団体、学校の協力を得て一斉除雪を実施、ボランティア活動を推進するとともに、高齢者が住み慣れた地域や家庭において安心して冬の暮らしができるよう支援を図った。

- ・検討会：11月14日
- ・実施日：1月25日 積雪不足のため中止
2月2日 積雪不足のため中止

※感染予防のため、中学生は不参加。高校生は単独で施設の除雪を予定していたが積雪不足のため中止した。

◇トータルケア推進事業

○トータルケア推進事業で取り組んできた地域福祉活動の事業点検を実施、住民主体の活動を支援、全ての町民が住み慣れた地域において、安全に安心して暮していけるよう地域の福祉力を高め「福祉でまちづくり」に取り組んだ。

- ・社協サポーター（福祉応援団）の登録：13名
- ・ワーキンググループの支援：いきいきパソコンクラブ活動
第24回6名、第25回6名、第26回4名
- ・はと麦ドンボランティア会議：1回
- ・はと麦ドン活動回数：4回
- ・おたすけマン事業の実施：延べ利用件数25件、おたすけマン登録者数8名

○居場所づくりサポート「心結び」と「ほとり食堂」にフードドライブの食品提供等で協力し地域の居場所づくり活動を支援した。

○社会福祉法人地域公益活動事業

- ・社会福祉法人地域公益活動事業検討会：8月29日

○職員のスキルアップを図るため各種研修会へ参加

- ・県内地域福祉担当職員情報交換会：5月23日、1月15日
- ・コミュニティーソーシャルワーク実践者養成研修：6月19日～20日
9月12日～13日
- ・地域福祉推進研修：8月1日～2日
- ・コミュニティーソーシャルワーク実践研究会研修：8月22日、2月22日
- ・トータルケア推進会議：2月9日

◇まめだ屋運営事業

○いつでも利用できる空き店舗活用で、閉じこもり予防、生きがいを推進した。

- ・利用状況：延べ利用団体178団体
- ・延べ利用人数：1,025名

○まめだ屋を会場にNPO法人KOU、NPO法人まることびおらと共催し「若者の居場所作り事業」を実施。気軽に立ち寄れる若者の居場所作りを支援した：年4回

○まめだ屋ボランティア：9名

○まめだ屋活動サークルの支援：手芸教室、将棋クラブ、地区ミニデイ等

◇総合相談事業

- みさと福祉センターを相談会場とし、町内の相談機関等が連携を図り日常生活や専門的な相談に応じ、町民生活の安定を図った。
- 一般相談：専任相談員6名を委嘱し毎週水曜日開設。（相談件数27件）
- 法律相談：弁護士による専門相談。随時対応。（相談件数6件）
- 特殊詐欺被害防止パンフレット配布による啓発活動。
- 県南若者サポートステーション横手の出張相談をみさと福祉センターを会場に4回開催し、リーフレットを全戸配布し相談機関の周知を図った。
- やすらぎプロジェクト「こころの健康相談サロン」をみさと福祉センターを会場に12回開催。
- 相談機関連携
 - ・秋田県ひきこもり相談支援連絡協議会：9月5日
 - ・大仙美郷地区相談機関等ネットワーク会議：11月15日

◇ボランティアセンター運営事業

- 災害ボランティアセンターとしての機能・機材・災害食の充実を図った。
- 7月大雨災害による秋田市災害ボランティアセンターへ職員派遣（7月21日～9月30日）

◇移送サービス事業

- 寝たきり等で、福祉車両でなければ移動できない方へ移送車両を貸出し、通院などの外出支援を図った。
 - ・利用件数：9件

◇地域子育て応援事業

- 社協会費を財源とする子供・子育て関連事業を実施し、若い世代へ社協のPRを図った。
- 町内の小学校に入学する新1年生に学用品を贈り、健やかな成長を見守り応援した。
 - ・学用品贈呈数：令和5年度新1年生 93名
 - ・誕生祝い金：28名

◇日常生活自立支援事業

- 「福祉生活サポートセンター」を設置し専門員1名（兼務）を配置。認知症高齢者等判断能力が十分でない方を対象に、福祉サービスの利用についての情報提供、利用のための手続き、料金の支払い等、日常的金銭の管理を行い安心して在宅生活を送れるよう援助し、世帯の支援を図った。
 - ・利用者数：13名
 - ・延べ相談件数：161件
 - ・延べ援助回数：181回
- 日常生活自立支援事業専門員連絡会議：毎月1回
- 日常的な金銭管理サービス実施状況調査：7月5日
- 専門員研修会への参加
 - ・日常生活自立支援事業生活支援員研修会9月6日

○成年後見制度等に関する会議等への参加

- ・成年後見人制度利用促進勉強会：10月5日、11月13日
- ・成年後見制度利用促進協議会（中核機関設置済）：11月14日
- ・家庭裁判所と家事関係機関との連絡協議会：12月15日

◇福祉教育活動推進事業

○町内各校のJRC活動を推進、福祉活動への関心を高め児童生徒の福祉意識の高揚を図った。

- ・福祉教育推進連絡協議会：4月28日

○町内5校（小・中・高）の福祉教育への取り組みへ助成金を交付した。

（仙南・六郷・千畑小学校各10万円、美郷中学校15万円、六郷高校10万円）

- ・六郷小学校4年生総合学習支援（～福祉について考えよう～疑似体験・車椅子体験）

：6月26日

○各学校の福祉養育活動写真を社会福祉大会会場及び町内スーパーに展示した。

○六郷高等学校生徒による地域交流

- ・暑中見舞い：一人暮らし老人へ
- ・クリスマスカード：配食サービス利用者へ

○夏休みサマースクール：7月31日

◇福祉座談会

○福祉協議会活動に対する理解を深めてもらうとともに、ニーズ把握に努め、地域の問題・課題について住民の共通認識を図った。

- ・開催期日：6月～10月 6会場（ふれあいサロン実施地区）
- ・参加者数：60名

◇社会福祉大会

○大会を通して、社会福祉協議会活動への理解を深め福祉意識の高揚を図った。

新型コロナウイルス対策により参加人数を制限し開催した。

美郷町社会福祉大会 10月13日開催 会場：美郷町公民館 参加者：160名

テーマ：「つながりを力に ～安心・安全な地域 美郷をめざして～」

- ・式典
- ・講演 災害ボランティアと地域づくり 一般社団法人BIGUP 阿部由紀氏
- ・アトラクション かさはらもとじ歌謡ショー

○秋田県社会福祉大会 10月30日開催 会場：あきた芸術劇場ミルハス 参加者：10名

記念講演 「子どもは歴史の希望～こどもまんなか社会と地域文化の伝承」

一般財団児童健全育成推進財団 理事長 鈴木一光氏

◇資金貸付事業

○たすけあい資金貸付事業

一時的に資金を必要とする低所得世帯に、小口現金の貸付を行い、民生児童委員と協働で世帯の更生支援を図った。長期滞納者へは8月と2月督促状を発送した。

- ・相談件数：37件
- ・貸付件数：7件

○生活福祉資金貸付事業

秋田県社会福祉協議会より生活福祉資金貸付事業の業務委託を受け、低所得世帯等の資金貸付の相談や申請受付を行い、民生児童委員の協力を得ながら、世帯の更生支援を図った。新型コロナウイルス感染症の影響により収入減少があった世帯に対応する緊急小口資金貸付、及び総合支援資金貸付の相談と償還猶予手続き、償還免除等の援助を行った。

- ・相談件数：17件
- ・申請件数：0件
- ・生活福祉資金償還指導（県社協職員へ同行）：10月24日
- ・生活福祉資金担当職員研修：1月12日
- ・生活福祉資金担当職員、担当民生委員研修：2月28日

◇罹災世帯法外援護事業

○火災等の罹災した世帯に見舞金を贈り、世帯更生の一助とし支援を図った。

- ・見舞金交付：火災見舞：1件

◇広報活動推進事業

○福祉協議会の活動内容、福祉に係る情報を提供し、社協に対する住民理解を深めた。また、朗読ボランティア「ダンボ」の会の協力を得て、視覚障害者へ声の広報を配布した。

○「福祉だより」第82号、第83号を発行した。

○ホームページによる情報公開。

◇みさと福祉センターの管理・運営

○地域福祉活動の拠点として、健康・生きがい活動の増進を図り、各種の相談に応じるとともに生活向上のための便宜等を総合的に提供し、町民の福祉の増進を図った。

- ・センターの貸出件数：301件
- ・利用者数：3,092人

○災害備蓄用品等を備え、避難所としての機能を整備した。

◆受託事業

○新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底し事業の継続に努めた。

◇在宅介護支援センター（千畑地区）

○身近な相談窓口として、在宅において介護が必要な方に介護に関する相談や情報提供を行いサービスの提供へつなぎ支援した。電話による相談受付は24時間体制をとり、問題解決に向けて関係機関との連携を図った。

- ・相談件数：1,168回

○地域の会館等で介護教室等を開催し、介護予防に努め高齢者の自立した生活を支援した。

- ・転倒予防教室：10回
- ・健康講話：1回
- ・介護教室：7回

○ケア会議の開催など地域包括支援センターや福祉保健課等と相談対応の連携と情報共有を図り、多職種連携による地域の問題解決の向上を図った。

- ・地域ケア連絡会：6回
- ・地域ケア会議：6回（自立支援型地域ケア会議：3回）

○認知症カフェ「オレンジカフェせんはた堂」：認知症について心配なことを気軽に話し合える場として、認知症カフェを開催し当事者、家族への支援を行った。

- ・実施日：6月22日、8月17日、12月22日、3月6日
- ・認知症キャラバンメイト養成研修：12月13日

◇老人福祉センター「雁が音苑」事業

○高齢者の健康を増進し、教養を高め高齢者ができる限り介護者状態に陥ることなく健康で生き生きとした生きがい活動のための便宜を総合的に供与し、老人福祉の増進を図った。

- ・貸出利用件数：0件

○老人福祉センターを会場とした生きがい活動支援通所事業（仙南地区）の実施。

◇生きがい活動支援通所事業

○おおむね65歳以上の高齢者で介護保険の認定を受けていない方を対象として、通所により各種サービスを提供し社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図り、要介護状態への進行を予防した。

- ・利用者数（3月末現在）：37名（みさと福祉センター：17名、雁が音苑：20名）
- ・延べ利用人数：1,851名（みさと福祉センター：829名、雁が音苑：1,022名）

○経年劣化によるボイラーの故障については、町委託金により修理することができ安全に業務を遂行した。

◇配食サービス事業

○65歳以上の高齢者世帯等で、高齢、心身の障害、傷病等により調理が困難な方に対し、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、利用者の安否確認等の見守り活動を推進した。

- ・実施曜日：千畑（火・金曜日）、六郷（水・金曜日）、仙南（火・木曜日）
- ・利用者数（3月末現在）：87名、延べ配食弁当個数：8,174食

○調理業者は業者委託であるが利用者の声や食材について、業者と情報共有し内容の充実につとめた。

○配達時に利用者への見守り、声かけの強化を図った。

◇ふれあい安心電話事業

○65歳以上の単身世帯、高齢者世帯、障害者世帯等に対し、あんしん電話を貸し出し不慮の事故や災害に備えた。

○24時間体制での相談支援や必要に応じ消防署・緊急協力員と連携し、緊急システムの整備を図り、世帯の安心安全な生活を支援した。

- ・設置台数（3月末現在）：74台　　・通報件数：258件
- ・新規取付：8台　　・取り外し：14台

- ・保守点検及びテスト通報：8月4日～8月29日
- 受信センター移行に伴う対応について、受信委託業者と協議を行う：
4月20日、8月31日、12月1日

◇地域住民グループ支援事業

- 町内会館等を利用し、地域のボランティアが自主的に運営する「ふれ愛いきいきサロン」を支援し、高齢者の生きがいがづくりや孤独感の解消を図った。実施地区1か所につき活動助成金20,000円を交付した。
- サロンを年間12回以上開催している地区には、11月の中間報告で確認し特別加算活動助成金20,000円を交付した。
 - ・サロン実施地区：32か所
 - ・特別加算活動助成地区：11か所
- 脳トレやゲーム等レクリエーション用具の貸出や職員が訪問し活動を支援した。
 - ・職員訪問サロン：15か所
 - ・用具貸出：15か所

◇介護用品支給事業

- 在宅の要介護度4・5または特別障害者・障害児童福祉手当が支給されている方を介護している家族に対し、紙おむつ等を支給し、寝たきり者の衛生保持及び在宅介護の支援を図った。
 - ・延べ支給人数：379名

◇生活支援コーディネーター事業

- 生活支援コーディネーター1名（兼務）を配置し、地域包括ケアシステムの介護予防・生活支援の仕組みの構築のため、アウトリーチを行いながら地域生活課題の把握に取り組み、多様な事業主体との地域たすけあいの安心生活の構築を目指した。
- 地域の気付きやつながり強化に向け、老人クラブやJA女性部と連携して地域サロン座談会でのニーズ把握及び、ふれあいサロン未実施地区の開催調整を行った。
- 「おたすけ便利手帳」の発行（掲載商店79店舗）
- 関係機関連携、スキルアップ向上を図るため各種会議研修会に参加した。
 - ・美郷町生活支援整備協議体会議：7月25日、11月17日、2月22日、3月11日
 - ・生活支援コーディネーター養成講座：5月29日
 - ・重層的支援体制整備事業研修会：7月13日
 - ・生活支援コーディネーター活動支援研修会（基礎編、応用編）
 - ・生活支援コーディネーター活動サポート研修：1月26日、2月16日
 - ・美郷町生活支援整備協議体視察研修：2月22日

◆介護等サービス事業

○新型コロナウイルス感染症の感染予防に努め事業を継続した。

○認証評価制度現地審査：11月29日

◇居宅介護支援事業

○利用者が有する能力に応じ、利用者に適切なサービスを提供する居宅サービス計画及び介護予防計画を作成し、在宅生活が継続できるよう支援を図った。

○携帯電話を利用した24時間連絡体制を取り、利用者の相談等に対応し支援を図った。

○介護保険事務所との委託契約により要介護認定調査を実施した。

・居宅サービス計画作成延べ件数：1,407件　利用者数（3月末現在）：113名

・介護予防プラン作成延べ件数：644件

　　予防プラン363件、予防ケアマネジメント281件、短期集中0件

　　利用者数（3月末現在）：55名　予防プラン27名、予防ケアマネジメント28名

・認定調査件数：10件

○適切なサービスを提供するため成年後見制度や多職種連携等の研修会に参加し職員のスキルアップを図った。

・主任介護支援専門員研修：11日間

・介護支援専門員実務研修：12日間

・介護支援専門員学習会：6月23日

・認定調査員研修：10月19日

・医療介護多職種連携研修会：3月21日

◇訪問介護事業

○要支援・要介護状態の高齢者に対し身体介護や生活支援の訪問介護サービスの提供を行い利用者が可能な限り居宅においてその有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう支援を図った。

・利用者数（3月末現在）：19名　介護9名、総合9名

・延べ利用回数：2,393　介護1,844回、総合549回

○実習生の受け入れ：六郷高等学校

○適切なサービスを提供するため、自主研修の開催や訪問介護員等研修会に参加し職員のスキルアップを図った。

・ホームヘルパー協議会研修会：6月12日、12月6日、2月21日

◇訪問入浴介護事業

○自宅浴槽での入浴が困難な要支援・要介護状態にある高齢者等に対し、簡易浴槽を自宅に持ち込み訪問入浴介護サービスの提供を行い利用者が可能な限り居宅においてその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう身体の衛生保持及び世帯の支援を図った。

・利用者数（3月末現在）：9名

・延べ利用回数：443回

○適切なサービスを提供するため看護実務等研修会に参加し職員のスキルアップを図った。

- ・訪問入浴介護オンラインセミナー：7月28日、10月13日
- ・看護職員研修：9月27日、10月24日、12月4日～5日

◇障がい者福祉事業

- 生活支援ホームヘルプサービス事業：65歳以上の自立高齢者を対象に家事援助・日常生活に関する支援を提供する。
 - ・利用者：なし
- 障害者自立支援事業：利用者の立場に立った適切な居宅サービスを提供、利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、身体介護・家事援助・同行援護サービスにより支援を図った。
 - ・利用者 居宅介護：利用者数（3月末現在）3名
延べ利用回数273回
 - 同行援護：利用者数（3月末現在）1名
延べ利用回数46回
 - 身体障害者入浴介護：利用者数（3月末現在）3名
延べ利用回数214回
- 虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会を開催 3月28日

◇相談支援事業（障がい者、障がい児）

- 障害者総合支援法と児童福祉法の理念に基づき、利用者及び保護者の意思を尊重し、利用者等の立場に立った相談及び援助を行った。
 - ・特定相談支援：利用者数（3月末現在）34名
延べ計画作成件数126件
 - ・障害児相談支援：利用なし
- 適切なサービスを提供するため研修会に参加し職員のスキルアップを図った。
 - ・障がい者総合支援法関係説明会：3月21日
- 虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会を開催 3月28日

◆法人運営事業

◇理事会・評議員会・監事会

- 法人の方針や事業内容等を理事会評議員会において検討協議し福祉協議会の健全な運営に努めた。
- 理事会の開催
 - 第1回（書面決議） 4月25日
議案第1号 規程第2号「経理規程」の一部変更について
 - 第2回 6月5日
議案第2号 令和4年度事業報告について

- 議案第3号 令和4年度社会福祉協議会会計収支決算について
- 議案第4号 令和5年度社会福祉協議会資金収支補正予算(案)(第1回)について
- 議案第5号 美郷町社会福祉協議会役員改選について
- 議案第6号 美郷町社会福祉協議会評議員欠員による候補者の推薦について
- 議案第7号 評議員選任解任委員会の開催について
- 議案第8号 定時評議員会(第1回評議員会)の開催について

第3回 6月26日

- 議案第9号 会長、副会長の選出について
- 議案第10号 各委員会の委員について
- 議案第11号 評議員選任・解任委員会委員の選任について
- 報告事項1 美郷町社会福祉協議会評議員の選任結果について

第4回 8月24日

- 議案第12号 令和5年度美郷町社会福祉大会について
- 報告事項1 会長職務執行状況報告について

第5回 3月18日

- 議案第13号 居宅介護支援事業運営規程の一部変更について
- 議案第14号 訪問介護事業運営規程の一部変更について
- 議案第15号 訪問入浴介護事業運営規程の一部変更について
- 議案第16号 居宅生活支援事業運営規程の一部変更について
- 議案第17号 指定特定相談支援事業及び指定障害児相談支援事業運営規程の一部変更について
- 議案第18号 個人情報保護規程の制定について
- 議案第19号 福祉座談会の廃止について
- 議案第20号 訪問介護事業、訪問入浴介護事業、障がい者福祉事業、地域生活支援事業の廃止について
- 議案第21号 苦情解決委員会委員の委嘱について
- 議案第22号 令和5年度社会福祉協議会資金収支補正予算(案)(第2回)について
- 議案第23号 令和6年度事業計画(案)について
- 議案第24号 令和6年度社会福祉協議会収支予算(案)について
- 議案第25号 第2回評議員会の開催について
- 議案第26号 副会長の後任について
- 報告事項1 会長職務執行状況報告
- 報告事項2 調理業務の外部委託について
- 報告事項3 BCP業務継続計画について

○評議員会の開催

第1回 6月26日

- 議案第1号 令和4年度事業報告について
- 議案第2号 令和4年度社会福祉協議会会計収支決算について
- 議案第3号 令和5年度社会福祉協議会資金収支補正予算（第1回）について
- 議案第4号 美郷町社会福祉協議会理事及び監事の選任について

第2回 3月28日

- 議案第5号 令和5年度社会福祉協議会資金収支補正予算(第2回)(案)について
- 議案第6号 令和6年度事業計画（案）について
- 議案第7号 令和6年度社会福祉協議会資金収支予算（案）について
- 議案第8号 居宅介護支援事業運営規程の一部変更について
- 議案第9号 訪問介護事業運営規程の一部変更について
- 議案第10号 訪問入浴介護事業運営規程の一部変更について
- 議案第11号 居宅生活支援事業運営規程の一部変更について
- 議案第12号 指定特定相談支援事業及び指定障害児相談支援事業運営規程の一部変更について
- 議案第13号 訪問介護事業、訪問入浴介護事業、障がい者福祉事業、地域生活支援事業の廃止について
- 報告事項1 個人情報保護規程の制定について
- 報告事項2 苦情解決委員会委員の委嘱について
- 報告事項3 福祉座談会の廃止について
- 報告事項4 調理業務の外部委託について
- 報告事項5 BCP業務継続計画について
- 報告事項6 副会長の後任について
- 報告事項7 令和5年度事業実施状況について

○監事会の開催

第1回 5月26日（年度末監査）

令和4年度美郷町社会福祉協議会会計監査 〔事業報告および決算等〕

第2回 11月1日（中間監査）

令和5年度美郷町社会福祉協議会会計監査

〔9月末現在事業報告および予算執行状況等〕

○正副会長会議の開催

第1回 5月26日

- 案件 1) 令和5年度業務の実施について
- 2) 役員改選について
- 3) 評議員欠員補充について

- 4) 評議員選任解任委員会委員任期満了に伴う選任について
- 5) 第2回理事会の開催について
- 6) 第3回理事会の開催について
- 7) 定時評議員会の開催について
- 8) 美郷町共同募金員会運営委員会の開催について
- 9) 美郷町共同募金委員会審査委員会任期満了に伴う選任について

第2回 8月8日

- 案件
- 1) 社協財政状況について
 - 2) 令和5年度美郷町社会福祉大会の開催について
 - 3) 令和5年度美郷町社会福祉大会表彰候補者（案）について
 - 4) 第4回理事会の開催について
 - 5) 美郷町共同募金会運営委員会の開催について

第3回 3月1日

- 案件
- 1) 令和5年度業務・財政状況について
 - 2) 令和6年度事業概要について
 - 3) 令和6年度予算概要について
 - 4) 個人情報保護規程の制定・諸規程の変更について
 - 5) 事業推進委員会・総務運営委員会の開催について
 - 6) 理事会・評議員会の開催について
 - 7) 副会長の後任について

◇役員・職員研修

○役員・職員の資質向上と組織強化、適切な福祉サービスの提供を目指し、各種研修へ参加した。

*役員研修

- ・五城目町社会福祉協議会へ視察研修：12月5日

*新任研修

- ・コミュニケーション向上研修：6月22日

*キャリアアップ実務研修

- ・OJTリーダー研修：11月2日
- ・リスクマネジメント研修：3月21日
- ・福祉サービスに係る苦情研修会（初級編・上級編）2日間

*労務管理

- ・ハラスメント防止講習会：5月16日
- ・虐待、ハラスメント防止研修：9月8日
- ・労務管理等研修（労働基準法、労務管理）：5月16日

◇委員会

○委員会（総務運営、事業推進）専門委員会（苦情解決委員会、生活福祉資金調査委員会・たすけあい資金運営委員会）により、社会福祉協議会の事業の進捗状況や課題等について健全な運営に努めた。

○事業推進委員会

第1回 8月24日

- 案件 1) 令和5年度美郷町社会福祉大会について
2) 令和5年度美郷町社会福祉協議会表彰候補者（案）について

第2回 3月5日

- 案件 1) 令和5年度事業状況について
2) 令和6年度事業概要について
・美郷町社会福祉協議会事業について
・介護保険事業について

○総務運営委員会 3月8日

- 案件 1) 令和6年度事業の概要について
・令和5年度事業点検について
・令和6年度事業計画素案について
2) 令和6年度予算概要について

○苦情解決委員会 9月15日

- 案件 1) 苦情受付の確認について
・令和4年7月～令和5年8月までの苦情等について
令和5年度苦情申立 なし

○資金貸付委員会

・たすけあい資金運営委員会並びに生活福祉資金調査委員会 1月24日

- 案件 1) たすけあい資金・生活福祉資金状況について
2) たすけあい資金長期滞納者の取扱いについて

◇福祉委員会議

○社協事業への理解を深め、福祉委員の意識高揚を高め地域福祉活動の充実を図った。

○福祉委員会議の開催

・千畑：6月23日、六郷：6月21日、仙南：6月22日

◇その他

○BCP事業持続計画を作成し災害発生時に備え、災害ボランティア事前登録を推進し災害ボランティアに関する研修等により人材の育成を図り、災害時には職員含め利用者の安否確認・

遅延なく事業を維持継続できるように整備した。

◇共同募金事業への協力

○共同募金会事業への協力

・令和5年度募金総額：6,772,402円 達成率：98.6%

○赤い羽根募金百貨店プロジェクト、赤い羽根自動販売機の設置への協力

・赤い羽根募金百貨店：1社、赤い羽根自動販売機設置：2台

○運営委員会等の開催

・運営委員会：3回 ・監事会：1回 ・審査委員会：1回

・奉仕員会議（会議を開催せず資料配布時、個別に説明を行った）

○会議・研修

・赤い羽根共同募金担当職員会議：6月16日

・赤い羽根募金運動推進会議参加：8月21日

・赤い羽根募金運動開始式：10月1日